

## 取引先情報ファイル登録 チェック仕様

➤ 取引先情報のファイル登録のチェック仕様について記載する。なお、各項目の詳細については表2に記載する。

### 1. チェック順序

表2の項番順に従い、チェックを行う。

#### (1) 表2中のチェック対象が「ファイル全体」の場合

エラーとなった場合は、チェック処理を打ちきり、ファイル全体をエラーとして扱う。

#### (2) 表2中のチェック対象が上記(1)以外の場合

エラーとなった場合も、当該レコードのチェックを継続する。(※)

※ただし、1レコードあたり2件のエラーを発見した場合は、当該レコードのチェックを中断し、次レコードのチェックに進む。

### 2. ファイル登録に利用しない項目の取り扱い

各ファイルについて、表2に記載の項目のみ、チェック対象とする。記載が無い項目については、チェック対象外とするため、不正な値が設定されていても、読み飛ばすこととする。

### 3. 基本事項

取引先情報のファイル登録にかかる基本事項を、表1に示す。

表 1 取引先情報のファイル登録にかかる基本事項

項番	チェック対象 (概要)	チェックがNGとなった場合のエラー種別 (登録状況)	エラーを確認する画面	取引先情報登録結果 ファイルの還元有無	取引先情報の 登録有無	備考
1	ファイル全体にかかるチェック条件	ファイル全体エラー	取引先情報ファイル登録結果一覧	無し	登録しない	ファイルの再登録が必要となる。
2	各レコードにかかるチェック条件	エラー	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	エラーとなった取引先情報は、ファイル等による再登録が必要となる。
3		正常(ワーニング有)	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録する	正常(ワーニング有)となった取引先情報は、登録済みであるため、ワーニング内容の修正が必要となる。
4		口座未確認	取引先情報ファイル登録結果詳細	有り (注1)	登録しない	取引先情報ファイル登録結果詳細画面より、口座存在確認の実施が必要となる。

(注1)エラーもしくはワーニング有となった場合、表2中のエラーコードに基づき、エラーコードならびにエラー内容を、「取引先情報登録結果ファイル」のエラーコード1、エラー情報1、エラーコード2、エラー情報2に設定する。